



認定遺伝カウンセラーとは

- ① 認定遺伝カウンセラーは遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体制などを含むさまざまな情報提供を行い、心理的・社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する保健医療・専門職である。
- ② 認定遺伝カウンセラーは医療技術を提供したり、研究を行う立場とは一線を画し、独立した立場から患者を援助することが求められる。
- ③ 認定遺伝カウンセラーは遺伝カウンセリングについて一定の実地修練を積んだ後に資格認定される専門職で、下記の要件を満たす必要がある。
 - 最新の遺伝医学の知識をもつ
 - 専門的なカウンセリング技術を身につけている
 - 倫理的・法的・社会的問題(ethical-legal-social issues : ELSI)に対応できる
 - 主治医や他の診療部門との協力関係(チーム)を構成・維持できる
- ④ 認定遺伝カウンセラーとなりうる基盤の職種としては看護師、保健師、助産師などのメディカルスタッフや、臨床心理士、社会福祉士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師などのコメディカルスタッフ、また生物学・生化学などの遺伝医学研究者やその他の人文・社会福祉系などの専門職が考えられる。

認定遺伝カウンセラーになるためには

全国に12ある認定遺伝カウンセラー養成課程[大学院修士課程]で遺伝カウンセリングに必要な知識を学び、実地修練を積みみます。修了生は認定試験の受験資格が得られ、試験に合格すると認定遺伝カウンセラー資格が取得できます。

[認定遺伝カウンセラー制度委員会<http://plaza.umin.ac.jp/~GC/>]

認定遺伝カウンセラー資格取得後の展望

- 東北メディカル・メガバンク機構
東北大学病院や東北地方の医療機関、全国の医療機関で遺伝カウンセリングに携わる
- 地域の保健センターや遺伝子検査会社等で、遺伝情報の提供や遺伝医療の啓発・教育を担う

公衆衛生・遺伝カウンセリングコースの特徴



- 理系・文系を問わず、医学系を志す学生に対して最高レベルの医学教育・医学研究の場を提供し、実践的な人材の育成に実践のある東北大学大学院医学系研究科に設置されたコース
- 公衆衛生学専攻に準備された社会医学系の充実のカリキュラムの受講が可能
- 最新のゲノム医学に関わるメガバンクの講師陣とカリキュラム
- 早期からカンファレンス参加、実地修練を取り入れたコース
- 徹底的なロールプレイを行いながら、遺伝カウンセリングについて理論から実践まで学ぶ

新しい専門職です。“Pathfinder”としてのチャレンジ精神と情熱、そして、しなやかな心のある方を求めています。

取得可能な学位・資格

- 修士[公衆衛生学]
- 認定遺伝カウンセラー認定試験の受験資格

カリキュラム概要 (2016年度)

1年次前期	<ul style="list-style-type: none"> ・社会医学入門 ・研究デザイン入門 ・保健医療概論 ・医療倫理学 I ・基礎医学 I, II, III, IV ・分子・遺伝生物学 I ・免疫科学 ・内科学概論 ・外科学概論 ・発生・発達・周産期医学概論 ・応用医療薬学特論 ・疫学概論 ・医学統計学入門 ・基礎人類遺伝学 ・ゲノム医学 ・遺伝カウンセリング概論 ・バイオメディカルゲノム情報解析実習 		
1年次後期	<ul style="list-style-type: none"> ・分子・遺伝生物学 II ・神経科学 ・医療薬学特論 ・がん科学 ・先進医学通論 ・医学データ解析入門 ・ゲノム統計学 ・臨床遺伝学 I 	遺伝カウンセリング演習	課題研究
2年次前期	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床遺伝学 II ・遺伝カウンセリング実践論 	遺伝カウンセリング実習	課題研究
2年次後期		遺伝カウンセリング実習	課題研究

遺伝医学関連学会・セミナーへの参加